



一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では、15名の議員が質問を行いましたので主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容は、会議録（11月下旬発行予定）を議会事務局、児玉総合支所、本庄ガス ECO はにぼんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。  
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



**問** かつて雉岡城跡は市民が憩い楽しめる場所であった。将来的に児玉高校跡地に児玉地域の小学校が統合される場合、児玉中学校との小中一貫教育が進められていく中で、「雉岡城跡」は、小中学生が自然や歴史・文化を体験できる貴重な「学びの場」となる。地域住民が憩える「癒しの場」としても、遊歩道や遊具の設置、ピクトープなど教育的効果をふまえ、総合的に整備することについて伺う。

**答** 雉岡城跡は15世紀半ばの築城以来、堀、土塁などの遺構が良好な状態で保存されており、昭和13年3月31日付で県の史跡に指定され、地域を代表する城郭遺跡として歴史的な景観を維持し続けています。

令和5年に文化財保存活用地域計画を策定し、保存及び景観の回復と市民の憩いの場の両立を目指しています。雉岡城跡全体の個別の保存計画



雑草繁茂・倒木が埋まる雉岡城跡の池

**問** 吉田市長は5期目で在職20年。市長が思い描いた点は面になっているか。本庄はまだ甦っていないように感じるが、市長が目指すまちにはあと何年必要か、ビジョンと展望は。来年の選挙には出るか。多選に対する考えは。学校選択制、高効率給湯器への補助金、大田市場手数料引き下げ、空港整備についての考えは。本庄駅北口ロータリーの再整備について、長期的に見て必要性はあるか。

**答** 旧本庄市の市長選挙で掲げたビジョン「甦れ本庄」は、まちなか再生に更に新たなまちづくりに挑む決意を込めたものです。その後、任期毎のビジョンに魂を込める意味で「甦れ本庄」を念頭に市政の前進を重ねてきました。課題もまだあり、早期に実現すべきもの、腰を据えて取り組むべきものもあります。自らの出処進退は、しかるべき時期に判断し公表す



5期目ビジョン—支えあいとチャレンジ



# ここがポイント！ そこが聞きたい！！

**市民サービスのデジタル化について**  
 公明党代表 清水 静子

**問** 来年度には本庄市でも来庁者への行政手続きの支援としてスマート窓口が導入されることで、利便性が向上することが期待されている。私は、以前にご遺族に寄り添った窓口について質問した。パソコンやスマートフォンから簡単な質問に答えるだけで、死亡届の提出後に必要となる手続きや必要書類など抽出してくれるシステム「おくやみ手続きナビ」の導入を提案するがどうか伺う。

**答** 現在、死亡届をご提出頂いた際には、ご遺族の方に市役所で手続きして頂く必要が想定されるものをまとめた「おくやみハンドブック」をお渡ししています。ご自身で対応可能な手続きについては、冊子をお持ちの上、各担当課を回って手続きして頂いています。電話でお問い合わせの際には、本冊子を用いて、来庁時にスムーズな手続きができるよう案内をさせ



おくやみ手続きをウェブでも

**災害級の暑さ対策について**  
 市議会未来代表 門倉 道雄

**問** 今年の夏も暑かった。平均気温が高い年の1位が今年、2位が去年、3位が昨年という観測結果もある。クーリングシエルター！クールオアシス・ミストシャワー屋根付きベンチ等暑さをしのげる場所作りの取り組みについて。熱中症対策の為に昼夜エアコンが欠かせない。来夏以降の冷房電気代補助について。災害時二次被害が予想できる避難場所の空調設備設置について、3点伺う。

**答** 本庄市クーリングシエルターは、公共施設13か所、また、薬局等民間施設8か所にご協力をいただき、一時的に暑さをしのぐ場所として指定をしています。クールオアシスは、埼玉県が実施している事業で、本市では民間施設10か所などが指定されています。屋根付きベンチ等の暑さをしのげる場の設置ですが、近年の猛暑では、日陰にいても熱中症になる危





**本庄市立小中学校区の適正規模及び適正配置について**  
自由民主党 早野 清  
本庄代表

**問** 令和13年統合予定の本庄東中学校区（東小・藤田小・仁手小）、令和18年統合予定の児玉中学校区（児玉小・金屋小・秋平小・共和小・本泉小）の令和4年6月～令和7年8月までの説明会等の経過を伺う。令和6年第3回定例会の質問に対し、旧児玉高校跡に児玉中学校区の統合小学校を開校することが最善と答えているが、現在どのような検討になっているのか伺う。

**答** 令和4年6月に、本市公共施設等マネジメント推進審議会に学校部会を設置し、学校の適正規模および適正配置を検討してきました。令和5年3月に本市立小・中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方（案）を作成し、令和6年3月には本市立小・中学校の教育環境の向上についてをまとめ、小学校の統合方針を示しました。地域の皆様には令



本庄東中学校・児玉中学校

【その他の質問】  
・公園を活かしたまちづくりについて  
・国道17号本庄道路について

**本庄駅市営駐輪場の無料化に向けて**  
広瀬 伸一（自由民主党本庄）

**問** 令和4年より繰り返し質してありますが、未だ進展がない状態です。全体の利用者は年間35,000人。その内、学生の利用は7割程となっており、本庄市は、将来像を「歴史と教育のまち本庄」と標榜しております。掲げた目標の通り、子育て家庭への支援と、学問に勤しむ学生支援という両方の観点から、まずは第一歩として、学生割引などを行うべきではないかと思います。

**答** 本庄駅駐輪場の無料化については、市の公の施設としての利用料の基本的な考え方として、利用者が限定される施設であるため、受益者負担の原則から利用者に応分の負担をいただく必要があると考えています。一方で、少子化が加速度的に進行する中、子育て世帯への経済的支援の必要性も認識しています。本市としては、近隣他市で実施している学生



本庄駅市営駐輪場

【その他の質問】  
・上武連携構想と空港整備について

割引の導入を検討しています。高崎線沿線の近隣自治体の状況ですが、深谷駅周辺は市営の無料駐輪場のみで、民間の駐輪場は、現在は営業していません。熊谷駅と高崎駅は、どちらも25％程度の学生割引を行っています。近隣市町の状況に加え、子育て世帯への経済的支援、本庄駅利用者に学生が比較的多いという本庄駅の特性も踏まえ、学生割引の実現に向けて具体的な検討を進めています。駅周辺の民間事業者、指定管理者とのさらなる協議が必要ですが、導入は来年4月を想定しており、必要な手続きをしっかりと進めていきます。（都市計画課）

**市長への手紙の現状と今後の取り組みについて**  
小賀野 健司（市議団未来）

**問** 市長への手紙の回答の多くは、今までの経緯と現状理解を求める表現が多く、具体的対応を感じません。住民は意を決して手紙を書いていて、クレームという捉え方をしてはならず、この制度で回答したことについて進捗状況などをきちんとフォローしなければ意味がありません。市長への手紙は、現状取扱が不十分であると思いますが、今後の取組について改善する考えがあるか伺います。

**答** 市長への手紙のご意見の中には、課題の解決に一定の時間を要するもの、予算の成立を待つ必要があるもの、地域の声を広く聴いた上で慎重に判断していくべきものなど、直ちに解決できないものも少なくありません。そのため、回答に対し、具体的な対応を感じないとの印象を持たれる方もいらっしゃるものと存じます。一方で、皆様からの手紙が



市長への手紙

【その他の質問】  
・公益通報制度について  
（秘書課）

課題解決のきっかけになったものや、多くの方からのご要望を踏まえて、事業の実施に繋がったものなどもあります。回答した手紙の進捗管理については、担当部局で行うことを基本としています。寄せられたご意見やご要望をもとに、課題の解決、実施に向けた検討、調査研究を進め、検討を要する施策等については、実施の可否を判断する材料として、市政運営に役立てています。なお、各部局の判断で対応可能なものについては、速やかな対応に努めています。今後についても、投稿された方の気持ちを丁寧に汲み取りながら、引き続き市政運営に生かしていきます。

**リチウムイオン電池専用回収ボックスの活用について**  
富田 雅寿（市議団大地）

**問** 最近、リチウムイオン電池が内蔵されているモバイルバッテリーや小型家電による火災事故が急増しています。その収集対応策として、本市には新規事業やベンチャー企業を支援している早稲田リサーチパーク内にインキュベーションオンキャンパス本庄早稲田V棟があり、その貸室の中に本市から支援を受けた企業が研究開発した専用回収ボックスがあります。活用できないでしょうか。

**答** 近年、リチウムイオン電池が原因と推測される火災事故等の事案が多数報道され、社会的にも新たな問題として注目されています。リチウムイオン電池は、様々な生活用品に含まれている一方で、電池として認識されず、家庭ごみに混入して排出され、破損などで発火する危険性もあり、ごみ処理の現場では施設などに大きな損傷を与え、作業員の安全を脅かしま



インキュベーションオンキャンパスV棟

【その他の質問】  
・早稲田リサーチパークの活用と今後について  
（環境推進課）

す。小山川クリーンセンターも例外ではなく、リチウムイオン電池が原因とみられる発火事案が確認されています。リチウムイオン電池の専用回収ボックスの導入については、市内企業が開発した回収装置は、国立研究開発法人NEDO（ネド）の提案型プロジェクトで高く評価され、発火危険性の回避・無効化を目的とした技術として、非常に有用性の高いものと聞いています。導入については、安全性や費用対効果等を検証し、市内の公共施設での活用など市民の安全確保や利便性向上のため、段階的、計画的な導入を図っていきたいと考えています。

**児童虐待の現状と今後の取り組みについて**  
林 富司（市議団未来）

**問** 児童虐待は年々増加し、親が加害者になることが多く「三才児」が最多で身体的虐待は年齢が上がる越高くなることですが、本市の状況とこれまでの対応件数についてお聞かせください。児童虐待防止策は子育て支援策で取り組んでいますが現状及び今後の施策を伺います。児童虐待防止対策は警察、学校、児童相談所等の整備連携が問われていますが教育委員会の所見をお聞かせください。

**答** 本市における令和6年度の虐待相談件数は72件で前年度の85件から約15％減少しています。主な虐待者は実父母で67件、93％を占め、虐待を受けたこどもの年齢では、0歳から6歳までが33件、45・9％で最多です。虐待の種類では、心理的虐待が48件、66・7％を占めており、そのうちの37件が警察から連絡があったものです。児童虐待防止の取組として



は、令和6年度に妊産婦及び乳幼児への切れ目のない支援を提供するため「こども家庭センター」を設置したほか、本庄市要保護児童対策地域協議会にて現在65世帯、107名を登録し支援しています。また、支援対象児童等見守り強化事業、公認心理師による心理相談、講演会開催、つどいの広場事業へ利用者支援員等を派遣した相談会の取組を行っています。教育委員会では、本庄市要保護児童対策地域協議会に指導主事が出席し、関係機関と連携を図り、必要に応じ情報共有を行っています。日頃から児童生徒の状況の把握に努めるとともに、子供の異変、違和感を見逃さないよう取り組んでいきます。（こども家庭センター他）



旧保健センター跡地の活用について

高橋 和美(市議団大地)

**問** 旧保健センター跡地は八年近く放置されたままで未だに活用の見通しがありません。そこではにほんブログ村の分館を設置できないかと思ひます。はにほんブログ村は稼働率が高くいつも予約で埋まっています。線路南にも市民活動の場を設置して利用の緩和を図り、同時に計画されている西・南公民館の統合も検討できないかと思ひます。旧保健センターの跡地の活用について伺います。

**答** 保健センター跡地は平成29年6月に北堀地区に新たな保健センターが開設された後、当該施設の解体工事が行われ、現在は更地の状態となっています。当該跡地は、災害時の指定緊急避難場所となっているほか、地域の防災訓練やイベントの際の臨時駐車場など、一時的に利用されています。

保健センター跡地に西公民館と南公民館の機能を集約

し、市民活動交流センターである本庄ガスECOはにほんブログ村の分館のような施設の設置についてご提案いただきました。議員のご提案については、市有財産を活用した公民館の統合または複合化によるコミュニティ施設新設のご提案として受けとめさせていただきます。今後の整備方針を整理する上での参考とさせていただきます。

保健センター跡地については、現時点で具体的な利活用等の方針は決まっています。が、地域の生活環境や周辺の道路状況等を考慮して、引き続き、民間による土地活用を含め、本市にとって最も効果的な活用を検討していきます。(資産マネジメント推進課)

**【その他の質問】** 指定管理者の評価について



活用されない旧保健センター跡地

防災に向けた道路及び河川整備について

栗田 弘志(公明党)

**問** 昨年末に市民の方から利根川河川敷に樹木が生茂っていて、河川の氾濫・洪水や火災等の危険があるとの声・指摘がありました。河川敷の管理は、市ではなく国になるとのこと。旭地区自治会長が要望書を国に提出しましたが、ここは、自治会だけに任すのではなく防災庁を誘致しようとしている本庄市としては、しっかり対応してもらいたいと考えますがどうでしょうか、伺います。

**答** 利根川の河川敷では樹木等の繁茂が見受けられ、近年の異常気象による豪雨などで洪水時には水の流れを阻害し、樹木が流れた際には、堤防の損傷、橋等にかかり、せき止めをする恐れがあります。

また、火災が発生した際には、延焼が広がる危険性も懸念されることから、令和7年2月に旭地区自治会長会から国へ要望書が手渡された

伺っています。

本市といたしましては、毎年、重要水防箇所の把握のため、国が主体となり、出水期前の5月に本市も参加して合同巡視を行っていることから、これと併せ、国に対し引き続き口頭とはなりますが、樹木等の伐採については、強く要望していきます。

また、通年を通して国土交通省八斗島出張所といういろいろなやりとりをし、常日頃より連携を図っています。

今後も引き続き、国とコミュニケーションをしっかりと取って、伐採作業が円滑に進むよう、災害の予防に努めていきます。

(道路管理課)

**【その他の質問】** 防災都市・本庄を目指して・防災訓練について



国土交通省ホームページより

公共施設(主に体育施設)の利用について

矢野間 規(市議団きせき)

**問** 以前、定期利用団体のオンライン予約について質問し、仮予約だけでなく、本予約までオンラインで完結できるよう提案したが進捗状況を伺う。また、児玉郡市及び深谷市と公の施設の相互利用協定を締結しているが、定期利用している団体以外の方が申込する際、年に1回程度しか使わない団体が申込をする時は、本人確認をしっかりと行うべきと考えるが市の見解を伺う。

**答** オンラインでの本予約は、利用者の利便性の向上や事務負担の軽減等のため、導入を早急に進める必要性があり、現在ルールづくり等、検討を進めています。

一方、導入には運用における課題もあります。オンライン本予約では、気軽にどこからでも、料金を支払わずとも予約が成立するため、念のため等の軽い気持ちで本予約されることも想定され、他の利

増え続ける介護保険料と介護予防及び自立支援について

堀口 伊代子(市議団未来)

**問** 本市の介護保険料基準額は5,450円で、最高は大阪市の9,249円。「はにとれ教室」は市内78か所で開催されており、14年間で一回開催されている地域もある。介護保険料の抑制には、はにとれ教室のさらなる普及促進と、介護サービスの利用されている方々へは、はにとれ教室等を利用し「卒介護」を目指し、地域全体で支え合う取り組みが今必要ではないかと考えるがいかがか。

**答** 「はにとれ教室」は、約2,400人の高齢者の皆さまが参加しています。教室が開催されていない地区では、地域包括支援センターなどと連携して、開催に向けて課題を整理してまいります。また、教室のリーダーとなるサポーターを養成し、サポーターと既存教室とのマッチングやフォローアップ研修を開催することにより、教室の維持や充実を支援していま

用者は利用に制約を受ける等、大きなデメリットとなります。このような現状ですが、様々な課題に対応しつつ、体育施設について今年度中に導入できるよう進めてまいります。

定期利用団体以外の利用者の本人確認は、重要だと認識しています。利用申請書の情報は、事故や破損の際の対応や料金の算定、急病時や災害時など、様々な事柄で活用される大切な情報です。

相互利用協定を締結している市町では、本人確認は行っていないません。本市でも、現時点では本人確認は行わない方針ですが、今後は近隣の市町の動向を注視していきます。

(スポーツ推進課)

**【その他の質問】** 公共料金の支払いについて



公共施設予約システム



イスに座って行うゆるい筋トレ

**【その他の質問】** 子育て支援について

(高齢者福祉課他)

高齢者の皆さま一人ひとりが何らかの役割や社会とのつながりを持ち、自分らしい元の暮らしを生き生きと送るために、継続的な健康づくりや介護予防の取組を推進し、持続可能な介護運営を目指していきます。

**【その他の質問】** 豊かな水源に恵まれるこの地、水道料金改定の偏向報道・そして全国稀にみる極度の硬水という水質などからネガティブなイメージを植え付けられている。ポジティブへの転換に向け、他市との料金比較を含む正確な情報提供、硬水のミネラル分を多く含むメリットを活かしながらのまちづくり、正確な分析・研究の必要性、本市の優れた農産物にも関連性があると考えるが見解を問う。

**答** 本市の水質の特徴は、と、硬度が高い傾向にあります。硬水の特徴としては飲み口が重いと感じられることや人によっては体調に合わない場合があるとされています。一方で一般的に硬水は人体にとって欠かせないミネラルの日常的な摂取の助けになるものとされています。

全国的にも珍しい硬度の高い水という地域的特性を単に



生活基盤を支える都島浄水場

(水道課)



アスベストの被害から  
子どもたちを守るために

柿沼 綾子(無会派)

**問** コスパの良さから大量に建築物などに使われたアスベスト。28年には建築物の建て替えのピークを迎え、解体工事による飛散が心配される。

40年後に生きる子どもたちの健康を守るため、市ができることは何か。

アスベストの被害をどうとらえ、市内の解体現場に市としてどう関与、取り組むのか環境基本条例に石綿の文字が入るようにはならないのか。

**答** アスベストの繊維は、肺がんを起こす可能性があり、子供のときにアスベストを吸引すると、30代から40代で発症する可能性があるなど、将来的なリスクが高まるため、解体工事等では適正な措置を講じなければなりません。

公共建築物の解体工事等では、発注前に専門業者による調査を実施し、飛散の恐れがある場合には、法に基づく届

出等を県や労働基準監督署へ提出しています。また、近隣住民には訪問して説明を行っています。工事では、大気中にアスベストを飛散させない方法を第一と考え、国や県の指針に則り施工しています。

民間工事に対しても県と連携し、指導や監督を行っています。

技術的、法的対応は、埼玉県マニュアルに基づき対応しています。マニュアルは、実務的な指針を整備しており、本市も含め県内の市町村でも必要な対応が可能です。環境保全条例の見直しについては、今後も国、県の制度改正や社会ニーズを注視していきます。(営繕住宅課・環境推進課)

【その他の質問】  
・非核平和都市宣言20周年を迎えるにあたって



## おもな案件②

◇本庄市の議会の議員又は長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正に準じ、本庄市議会議員及び本庄市長の選挙の公営に係る公費負担の限度額を引き上げるための条例の改正です。

◇令和7年度本庄市一般会計補正予算(第5号)

通学路における安全性を確保するため、グリーンベルトの再塗装等を実施するための追加など、歳入歳出それぞれ1億889万8000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ344億637万4000円とするものです。

◇令和6年度一般・特別・企業会計歳入歳出決算認定について

地方自治法及び地方公営企業法の規定により、各会計の決算を議会の議決に付するものです。

一般会計の歳入決算額は357億6773万421円

で前年度比2.9%の増。歳出決算額は331億7333万3777円で前年度比2.8%の増です。

## 議員会のいっしょ

9月定例会における各委員会の審査内容について主なものを紹介します。

◇総務常任委員会

○第60号議案

本庄市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

現在免除になっている職員の人数や改正後に対象となる人数などについて質疑しました。付託議案4件について、すべて可決すべきものと決しました。

◇建設産業常任委員会

○第67号議案

令和7年度本庄市一般会計補正予算(第5号)

農業水利施設整備事業の改修工事に伴う調査の内容などについて質疑しました。付託議案5件について、すべて可決すべきものとして決しました。

◇厚生文教常任委員会

○第67号議案

令和7年度本庄市一般会計補正予算(第5号)

教育活動支援事業についてバス借り上げの基準などについて質疑しました。付託議案5件について、すべて可決すべきものと決しました。

◇17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

国道17号バイパス本庄道路の早期整備を図るため、財務省及び国土交通省を訪問し、要望活動を行いました。

◇交通政策及び観光政策特別委員会

籠原駅以北までの15両編成列車の延伸、八高線にサイクルトレインやSL等の臨時列車を運行することなど、JR東日本高崎支社を訪問し、要望活動を行いました。



要望活動の様子